

第 24 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 (ホール審査) 総評 ショパニスト S 部門

●審査員 A

アマチュアながらレベルの高い曲を見事に表現されている方がおり感心して聞きました。技術的にやさしい曲でも、音楽を愛してピアノの練習を続けておられ、年齢を重ねただけの内容の理解のほどが感じられ、継続することの大切さを改めて思いました。今後も是非チャレンジして頂きたいものです。

●審査員 B

アジア大会での演奏、お疲れ様でした。ピアニスティックな技術と芸術的な感性の高さに感心しました。今後に向けてのアドバイスとして、大曲よりも、マズルカやノクターンなど人前で弾きやすい曲を選曲されるとよりよいのではと思います。

●審査員 C

アーティキュレーション、抑揚、拍子に注意を払いましょう。腕を正しく使って音を作り、コントロールしましょう。肘を使うのではなく、肩から指先の繋がりを意識します。どんな強弱であっても、十分に響く音であることが大切です。

●審査員 D

- ・個性豊かで、アピールのある演奏ばかりで参加者の皆様の音楽への愛情が、ひしひしと伝わってきました。
- ・高い技術力に、日頃の皆様の真摯にピアノに向き合う姿勢を感じる事ができました。アジア大会にふさわしい演奏ばかりで素敵でした。

●審査員 E

- ・Hall のひびきを楽しんでいる人とただ音をならしている人の違いがはっきり出ていました。
- ・テクニックが少々あやしい方が多かったです、音楽性はとても感じられました。
- ・心から音楽を愛し、弾くことを楽しまれていて素晴らしいと思えました。

●審査員 F

皆さん音楽が好きでこだわってピアノを弾いている様子が大変深く伝わってきました。歌心、ピアノに対する姿勢が深い愛情をもっていて誠実に音楽を続けていらっしゃる様子。選曲もそれぞれこだわりを持っていることもわかります。アジア大会まで残られてすごく喜んでいらっしゃるのだと思います。笑顔で臨んでいる方が多かったですのも、ほほえましく思いました。又、技術的にも難しいものに挑戦してがんばっている方もいて想いが熱を帯びて伝わってくる好演も聴けて嬉しく思いました。